函館の地域振興イベントの現状を知ろう

~はこだてダイナマイトサマーフェス来場者調査

函館大谷短期大学コミュニティ総合学科・1年 チーム谷短

川瀬ひな、窪田紫乃、竹越琥珀、田辺大空、野村虹美、山谷萌那実

1. はじめに

今日、函館において、歴史ある古くから継続して行われているものから、様々な目的で企画された新しいものまで様々な地域振興イベントが開催されている。これらのイベントは表1のように整理することができ、現在行われている地域振興イベントで最もらく行われているのはグルメメイン型のイベントだろう。これらのイベントを与れているのはグルメメイン型のイベントだろうが、他のイベントと差別化して「このイベントに行きたい」と思ってもらって集場ともですためにはどうしたら良いのだろうか。そのためには来場とした。

表1・地域振興イベントの分類

	特徴
ヒストリー型	長く受け継がれてきた歴史がある (港まつり、函館八幡宮例祭など)
ユニーク型	独自の特色を持った内容 (国際民族芸術祭、イルミナシオン映画祭、 クリスマスファンタジーなど)
グルメメイン型	飲食をメインとして行う (グルメサーカス、はこだてダイナマイトサマーフェスなど)

2. 目的

本研究では「はこだてダイナマイトサマーフェス」を取り上げ、 来場者の属性、来場の目的などを明らかにする。また、来場目的 や他のイベントとの親和性から、さらに来場者を増やすためには 今後どのような工夫や広報活動を行うべきか検討することを目的 とする。

3. 調查方法

【調査実施日】

2023年7月15~17日に函館・大門地区グリーンプラザで実施されたはこだてダイナマイトサマーフェス2023の会場でアンケートを実施した。

【調査方法】

上記イベント中に会場内で食事や買い物をしている来場者へ調査への協力を依頼して実施した。調査はインタビュー形式で行い、回答は選択肢が記載されたパネルをみながら選んでもらった。

【調査内容】

調査項目は以下の通りである。Q4~Q6は複数回答が可能で、Q7は自由回答となっている。

Q1性別、Q2年齢、Q3居住地、Q4ダイナマイトサマーフェスを知った経緯、Q5来場の目的、Q6函館の他のイベントへの参加意思、Q7どんなイベントなら行きたいか

4. 結果

【基礎集計】

Q1,Q2,Q3について

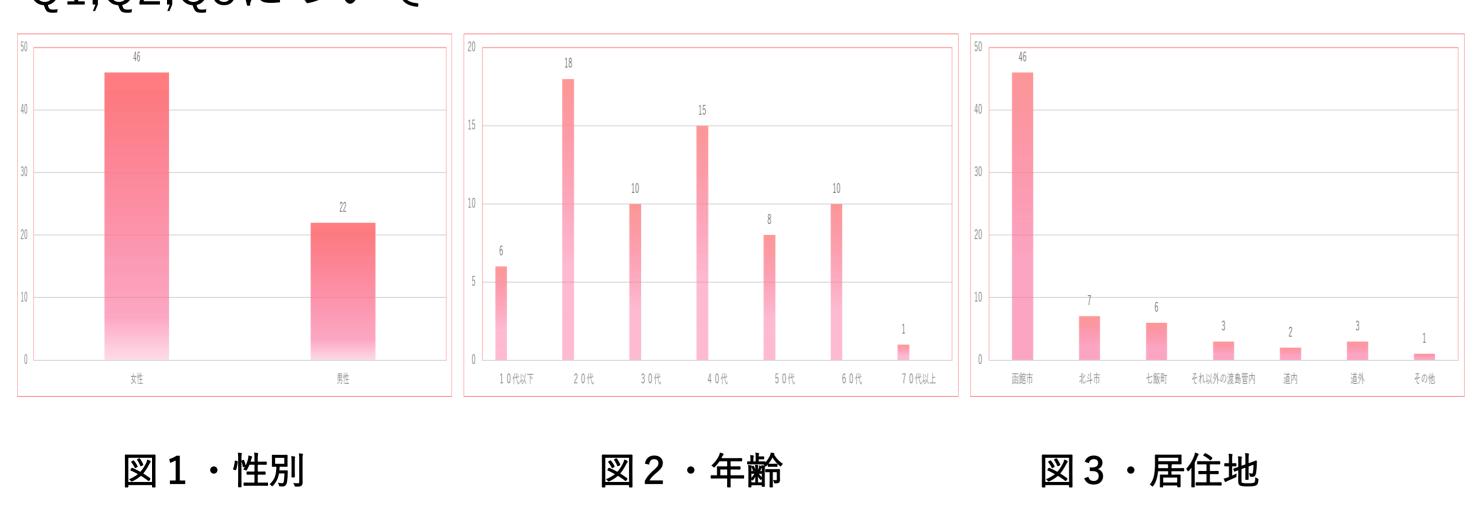


図1~3に示した通り、20代、40代、女性、函館市からの来場が多い。

Q4について

図4に示した通り、ポスターを見て知った人よりもインターネットを見た人の方が圧倒的に多い。「なし」の回答が全体として多いのは、このイベントを知る強い手段がないからではないか。

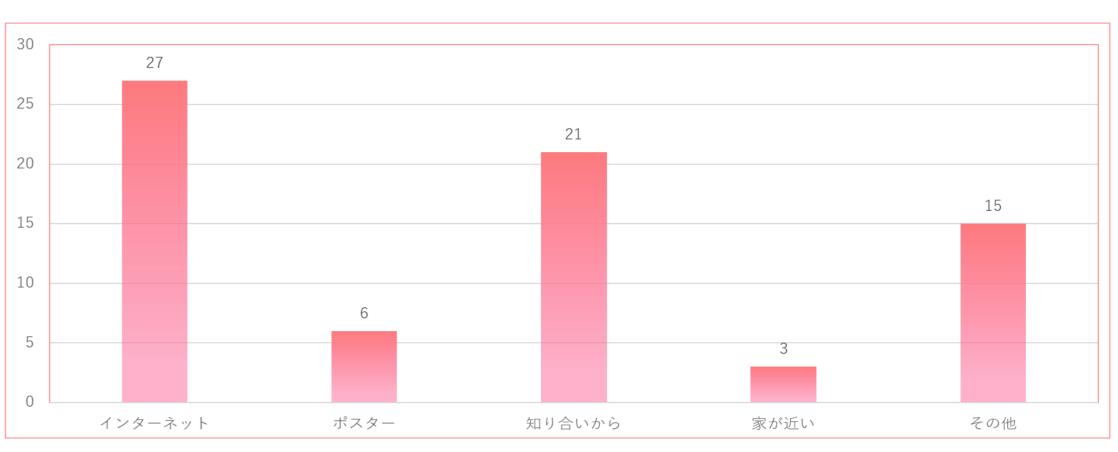


図4・イベントを知った経緯

Q5について

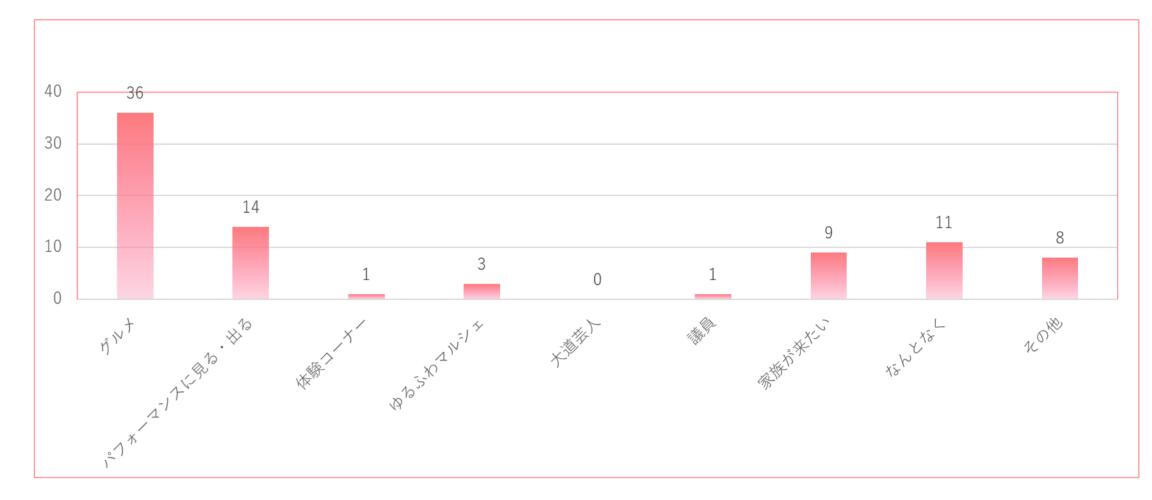


図5・来場の目的

グルメ目的の人が圧倒的に多いことが図5からわかる。その他のイベント内容(ゆるふわ体験や大道芸人)が認識されていないのではないかと考える。

Q6について

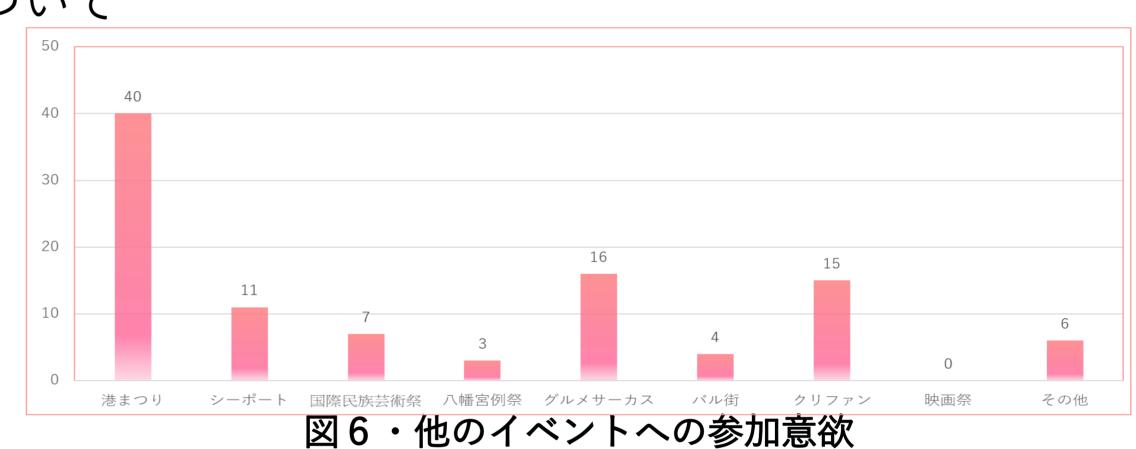
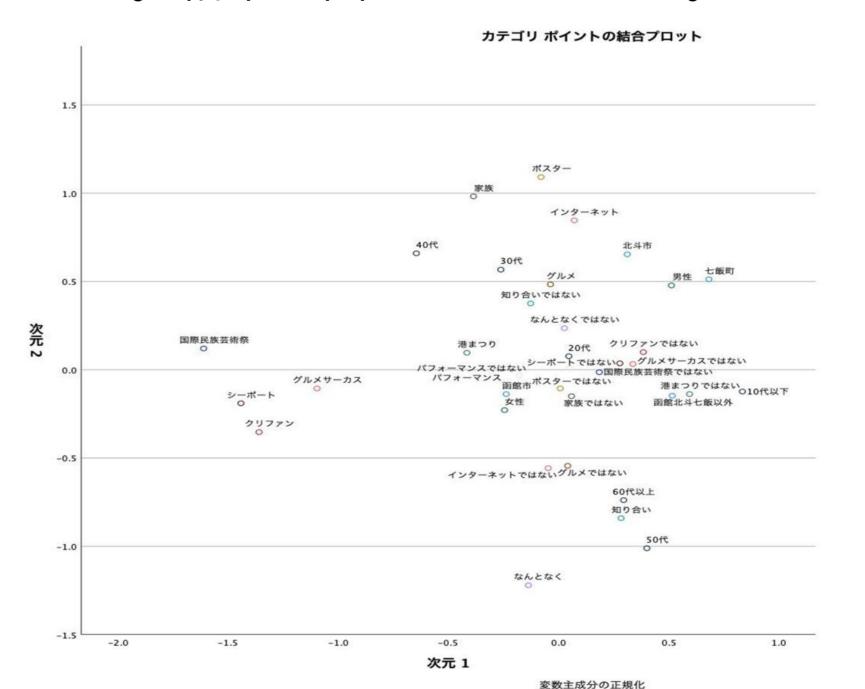


図6に示した通り、港まつりやクリファンといった有名なイベントは参加したいという回答が多いが、それ以外のイベントへ参加したいという回答は少ない。

【多重応答分析】

Q1からQ6の項目を使って多重応答分析を行った。分析が煩雑になることを避けるため、度数が5以下の項目はあらかじめ削除して実施している。結果は図7の通りである。



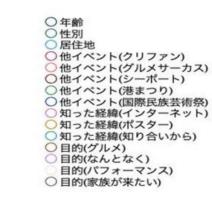


図7・多重応答分析結果

次元1は左側に他のイベントへの参加がまとまっているのに対して、右側には不参加が集まっていることから「イベント積極性」を示すと考えられる。

次元2はフェスを知った経緯(ポスターやインターネット)や来場目的のグルメが上の方に集まっているのに対し、下の方には来場目的の「なんとなく」があることから「来場の明確性」を示すと考えられる。

5 考察